

三月になりましたねえ

## 少しずつ暖かくなり始めました

これを書いているのは三月の五日です。

なんとなく暖かくなり始めた今日この頃ですが、皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。

境内を見渡すと、梅も終わり、今は桃の花が咲いています。木蓮もつぼみを膨らませはじめ、咲く時機をうかがっているようです。

仕事場の外からは、ウグイスの鳴き声も聞こえてきています。今年の初鳴きでしょうか。

こうしてみると、本格的な春がもうすぐそこまでやってきているのだと実感します。

気象庁が発表している1ヶ月予報を見てみると、向こう1ヶ月の気温に関しては、平年よりやや低めか平年並みの確率が高いであろうと予測されています。天気は周期的に変わるとの予測も出ていますので、もうしばらくは寒の戻りがあるかも知れません。

この時期は体調が変化していく時期でもあります。皆さままどうぞ、ご自愛くださいませ。



## 季節の言葉あれこれ

毎度毎度になります、今月もまた季節にちなんだ言葉をご紹介したいと思います。

今は春。春といえば花。春の花といえは、やはり桜。ということ、桜の花に関する言葉を集めてみました。

### 【花筵】（はなむしろ）

花見の宴のときに使う筵（むしろ）。また、花見の宴そのものを「花むしろ」ということもあります。

桜の花びらが、地面に敷き詰められたようになっているとき、そこに座ることもまた「花むしろ」と表現したりすることも。

今もあるのかはわかりませんが、桜の名所では花見客に筵を貸していたところもあったようです。なかには、自ら「毛氈」（もうせん・獣の毛を繊維に加工して、織物のように仕上げた敷物）を持参して、花見に興ずる人もいたという話もあります。

桜が咲き広がる枝の下、花を愛でながらお酒やごちそうを楽しみ、春のひとときを過ごす。これぞ桜の季節の醍醐味ですね。



### 【花疲れ】（はなづかれ）

花見の宴のあと、どっと疲れることがあります。

美しく咲き誇った桜の花に酔った、人混みにもまれて歩き回って、家に帰り着いたときに、思った以上に疲れを感じてしまう。

そんなときの疲れを表す言葉として「花疲れ」が用いられます。

### 【春愁】（しゅんしゅう）

また、春は「もの憂い季節」ともいわれます。厳しかった冬が去り、季節が春に移ろって、新しいことがいろいろ始まります。

そんな、期待もありつつ不安も感じたり。楽しいことや遊びなどが最高潮に達して、そして過ぎ去っていくときなどに感じる気持ちを表す言葉です。

花むしろで桜を楽しみ、花疲れを感じて、春愁に迷い込む。などということがないように気をつけて、桜咲くこの春を楽しんでください。